

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		キャリアデザインⅠ				
担当教員		馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		葬祭セレモニー科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択		必修	単位数		時間数	150
授業概要、目的、 授業の進め方		wishの学生として学校生活を送るためのルールを知る 学校生活の不安を解消し、やる気と自信を生む すらら学習（アプリ教材）に取り組み、基礎学力を定着させる、見直す 仲間づくりを通じて、コミュニケーション力を高めるワークを行う 就活に伴う企業研究の時間にする				
学習目標 （到達目標）		学校生活でのルールを知り、社会人となる人材育成を行う。 就職対策として企業について知る、自己を分析し知る。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		各種プリント・すらら学習				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1～10	オリエンテーション （学校を知る・スケジュールを知る・学校の規律を学ぶ）			手引き		
11～20	パソコンの設定・使い方指導、目標設定			パソコン演習		
21～30	学年交流、クラス交流、すらら説明、すらら学習			グループディスカッション		
31～40	ゴールデンウィークの課題確認・時間割、テキスト説明・クラス交流			すららアプリ・各種プリント		
41～50	クラスホームルーム、コミュニケーションタイム					
51～60	クラスインフォメーション、ディスカッション、履歴書書き			グループディスカッション		
61～65	グループディスカッション、クラスホームルーム、会場見学			グループディスカッション		
66～70	1, 2年生交流会					
71～80	夏休み前のインフォメーション、大掃除			プリント		
81～85	すらら学習 グループディスカッション			グループディスカッション		
86～90	すらら学習、クラスホームルーム、修了式			プリント		
91～95	すらら学習、卒業生座談会、クラスホームルーム			レポート		
96～100	すらら学習					
101～110	業界フェア見学、レポート書き、すらら学習			すららまとめテスト		
111～120	すらら学習、面談			すららアプリ・各種プリント		
120～130	すらら学習、面談、課外授業			すららアプリ・各種プリント		
131～140	すらら学習、面談、課外授業			すららアプリ・各種プリント		
141～150	修了式、大掃除					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
学習意欲 50% 出席率 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場合なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。 プリント教材がたくさんあるためパスワードやIDの管理を徹底させる。		
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	就職対策Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科(ホテルツーリズム大学科除く)	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	70
授業概要、目的、授業の進め方	就職活動の流れや必要な事柄について理解し、個人で準備ができるように指導する 1. 就職活動の流れ 2. 自己分析 3. 企業研究 4. 書類・面接について				
学習目標 (到達目標)	自分の人生スケジュールを考えながら、就職活動に向かうことができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	勝つための就職ガイド Success				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	就職活動の心構え 就職活動の流れ		テキスト P.6～		
3 4	履歴書・エントリーシートの書き方		テキスト P.14～		
5～8	動画履歴書作成		テキスト P.18～		
9 10	自己分析 自分自身を知る		テキスト P.27～		
11 12	職業を知る 自己分析				
13～18	論理的文章の書き方・考え方				
19 20	情報収集・企業研究				
21～23	情報収集のポイント		テキスト P.36～		
24～30	面接指導 自己分析 自己PR		テキスト P.52～		
31～35	面接練習 ・ 企業研究 ・ サイトの活用		テキスト P.66～		
36～50	就職研修 履歴書の写真撮影など				
51～55	研修振り返り・企業研究				
55～60	就職研修（1月）・求職登録面接				
61～70	就職研修（2月）・求職登録面接				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	プリントやテキストを中心に文書の書き方を繰り返し学習する。PCを使って、実際のお礼状、メール文書等を仕上げていく				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書を用いたメールができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践ビジネスマナー、各種プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	敬語表現、メール文書作成		メール機能の確認、使用方法を操作		
5～9	漢字、感じのいい受け答え・電話のかけ方		正確な文章、敬語をプリントを使って確認、電話実践		
10～13	電話の出方、お礼状、就職活動時の例文		アイモデル		
12～20	ロールプレイ		アイモデル		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験結果50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語やビジネスシーンで使う単語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。実際の会話を想定し、アイモデルでくりかえし練習する		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 意欲的な心構え・自分自身の可能性を導き出す為の為に、体験→気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	半年毎の目標を設定させ、目標の実現を目指す為の思考力を学ぶ				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート1 マジックドア1 夢と目標		個人作業・グループディスカッション		
2	パート1 マジックドア2 間違った思い込みと言い訳		個人作業・グループディスカッション		
3,4	パート1 マジックドア3 自分への信頼を取り戻すために①		個人作業・グループディスカッション		
5,6	パート1 マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために②		個人作業・グループディスカッション		
7	パート1 マジックドア5 目標を設定しよう		個人作業・グループディスカッション		
8	パート2 マジックドア1 プラス思考が能力・可能性を広げる		個人作業・グループディスカッション		
9、10	パート2 マジックドア2 考え方を換えれば行動が変わる		個人作業・グループディスカッション		
11, 12	パート2 マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決する		個人作業・グループディスカッション		
13,14	パート2 マジックドア4 コミュニケーションスタイルを見直そう		個人作業・グループディスカッション		
15	パート2 マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる		個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			明確な目標設定を行なわせ、常に向上心を持たせられるよう留意する。		
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	コミュニケーション				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	1.社会においてコミュニケーションの大切さを知る 2.あらゆる場面で、よりスムーズなコミュニケーションをとるための技術を身につける				
学習目標 (到達目標)	コミュニケーション検定初級の取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ウイネット発行 コミュニケーション技法・コミュニケーション検定初級 公式ガイドブック＆問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	・検定詳細、動機付け、授業の進め方 ・行動をチェックする ・コミュニケーションの定義		講義（コミュニケーション技法テキスト使用）		
3・4	・コミュニケーションの基本を身に着けよう		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
5・6	・話すときの心構えを理解しよう ・効果的な話し方を身に着けよう		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
7・8	・きれいな発声・発音を身に着けよう ・正しい日本語を身に着けよう		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
9・10	・効果的な表現力を身に着けよう		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
11・12	・聞くことの重要性		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
13・14	・各種コミュニケーション場面とポイント		問題演習・解答解説（公式ガイドブック使用）		
15・16	過去問題1・2		問題演習・解答解説（公式ガイドブック使用）		
17・18	過去問題3・4（マークシートを使って）		問題演習・解答解説		
19・20	過去問題解きなおし（マークシートを使って）		問題演習・解答解説		
21～23	過去問題5（マークシートを使って）		問題演習・解答解説		
24～30	検定本番、振り返り		問題演習・解答解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
過去問題テスト80%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全員合格を目指すために、復習に力を入れる 分からない部分は友達同士で共有・解決できる環境を作る		
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ホスピタリティコミュニケーション				
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択		必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方		1.ホスピタリエ資格取得をし、ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)		日常生活の中にホスピタリエの視点を自然にとりいれられるようにする。 社会の課題をホスピタリティの視点で見つめ、自分の考えを持つ思考習慣を身に着ける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		筆記用具				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1～2	ホスピタリエが学ぶホスピタリティ			パワーポイント		
3～4	ごきげんなホスピタリエになるために必要な5つの資質			パワーポイント		
5～6	ホスピタリエのコミュニケーション習慣			パワーポイント		
7～8	ホスピタリエの共感力を磨こう！			パワーポイント		
9～10	ホスピタリエが家族に一番近い他人になるために			パワーポイント		
11～12	ホスピタリエのホスピタリエ紹介			パワーポイント		
13～14	ホスピタリエの学校生活とファーストステップ			パワーポイント		
15～16	起きてから寝るまでのファーストステップ			パワーポイント		
17～18	ホスピタリエの5つの資質の再チェック			パワーポイント		
19～20	ホスピタリエの共感レポート			パワーポイント		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅰ				
担当教員	竹内正明	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学び、word検定に合格する				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ　ワード文書処理能力検定３級　合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ　WORD2021クイックマスター基本編　ワード文書処理能力検定３級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	Wordの基本		実習		
3・4	文字の入力と編集の基本操作		実習		
5・6	文書の編集		実習		
7・8	文書の印刷		実習		
9・10	文書の作成		実習		
11・12	表を使った文書の作成				
13・14	図形や画像を使った文書の作成		実習		
15・16	検定対策　問題集　練習問題　１		実習		
17・18	検定対策　問題集　練習問題　２		実習		
19・20	検定対策　問題集　練習問題　３		実習		
21・22	検定対策　問題集　模擬問題　１		実習		
23・24	検定対策　問題集　模擬問題　２		実習		
25・26	検定対策　問題集　模擬問題　３				
27・28	検定対策　問題集　模擬問題　４				
29・30	検定対策　問題集　模擬問題　５				
31・32	検定対策　問題集　模擬問題　６				
33・34	検定対策　問題集　模擬問題　７				
35	検定試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70％　学習意欲10％　検定合格20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			問題集をクリアすることで、検定合格率がアップすることから、学生のモチベーションをキープさせ、必ず終了するように考慮する。		
実務経験教員の経歴		営業、企画、学校設立、教育指導経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	日常英会話Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています 毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	オリエンテーション Unit1		スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト		
3	Unit1 Lesson5 トレーニング1・2・4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング1・2・4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング1・2・4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング1・2・4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング1・2・4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング1・2・4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング1・2・4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング1・2・4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング1・2・4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング1・2・4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング1・2・4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング1・2・4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング1・2・4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング1・2・4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング1・2・4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング1・2・4				
23	テスト練習				
24	テスト				
25	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度40％ 試験60％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			アプリを中心に学び、単語テストも適宜行う。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名	葬儀概論Ⅰ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭セラモニー科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	170
授業概要、目的、授業の進め方	1、葬儀の一般的な流れを学ぶ。 2、葬祭業界を取り巻く社会環境を学ぶ。 3、葬祭業界の職種や業務内容を学ぶ。 4、宗教ごとの葬送儀礼を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	確認テストに合格する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論ほかレジュメを使用				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～2	オリエンテーション（授業の目的を知る）		自己紹介		
3～6	業界を取り巻く環境（高齢化、企業の取り組み）について学ぶ		レジュメ作成		
7～10	葬儀の業態を知る		レジュメ作成		
11～14	「業界が求める人」を学ぶ		葬儀社員より講義（非常勤）		
15～18	新潟県と県外の風習を知る		レジュメ作成		
19～22	関連企業について知る		レジュメ作成		
23～26	業界で働くということを知る		卒業生との座談会を行う		
27～30	葬儀の意味を知る		葬儀概論 P9～20		
31～34	葬儀の流れを知る 臨終～遺体の搬送		葬儀概論 P102～P108		
35～38	葬儀の流れを知る 遺体安置～枕経		葬儀概論 P107～P109 P115～P117		
39～42	葬儀の流れを知る 死亡届・死亡診断書～火葬場予約		葬儀概論 P100～P101		
43～46	葬儀の流れを知る 通夜・葬儀の打ち合わせ		葬儀概論 P109～P115		
47～50	葬儀の流れを知る 死亡広告・弔辞		葬儀概論 P164～P166		
51～54	葬儀の流れを知る 設営・飾り付け		葬儀概論 P125～P131		
55～58	葬儀の流れを知る 納棺の仕方		葬儀概論 P118～P124		
59～62	葬儀の流れを知る 飲食について		葬儀概論 P134 P147～P148		
63～66	葬儀の流れを知る 通夜式とは		葬儀概論 P132～P135		
67～70	葬儀の流れを知る 葬儀・告別式		葬儀概論 P135～P144		
71～74	葬儀の流れを知る 出棺～火葬収骨		葬儀概論 P144～P148		
75～78	葬儀の流れを知る 法要・納骨		葬儀概論 P149 P154～158		
79～82	葬儀の流れを知る 宗教・法規について		葬儀概論 P186～P193		
83～84	確認テスト				
85～88	葬儀の知識を身につける 死亡記事・死亡広告・告別方法		葬儀概論 P163～168		
89～92	葬儀の知識を身につける 香典・返礼品・霊柩車		葬儀概論 P169～176		
93～96	葬儀の知識を身につける 棺・祭壇・葬具		葬儀概論 P177～185		
97～100	葬儀の知識を身につける 戒名・布施・仏壇・仏具		葬儀概論 P186～195		
101～104	葬儀の知識を身につける 墓・死後の手続き・相続		葬儀概論 P196～209		
105～108	葬儀の知識を身につける 遺言・相続税・遺体の海外移送・葬儀事情		葬儀概論 P210～221		
109～112	葬儀の知識を身につける 葬儀と習俗・生前準備・顧客獲得システム		葬儀概論 P222～228		
113～116	葬儀の知識を身につける グリーフワーク		葬儀概論 P229～234		
117～118	確認テスト				
119～122	日本の宗教の概要 宗教団体・神道・仏教・キリスト教・諸教				
123～126	宗教儀礼を学ぶ 神葬祭・天台宗・真言宗		葬儀概論 P263～P272		
127～130	宗教儀礼を学ぶ 浄土宗・浄土真宗		葬儀概論 P273～P281		
131～134	宗教儀礼を学ぶ 臨済宗・曹洞宗・日蓮宗		葬儀概論 P282～P289		
135～138	宗教儀礼を学ぶ カトリック・プロテスタント		葬儀概論 P290～P298		
139～141	宗教儀礼を学ぶ 天理教・金光教・友人葬		葬儀概論 P299～P 304		
142～145	葬祭サービスとは 事例研究から学ぶ				
146～147	確認テスト				
148～151	企業研究①		企業研究ワークシートを参考。		
152～155	企業研究②		企業研究ワークシートを参考。		
156～159	企業研究③		企業研究ワークシートを参考。		
160～163	企業研究④		企業研究ワークシートを参考。		
164～167	企業研究⑤		企業研究ワークシートを参考。		
168～169	目指す働き方や職種を考える		卒業生との座談会		
170	1年間振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度・出席率80%、確認テスト20%			葬儀の知識を習得する際、座学中心なので繰り返し復習する時間を設けて、知識の定着を目指す。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬儀実務				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	50
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 実習を通して遺体の搬送や電話応対、納棺や着せ替え、葬儀の司会などの技術を身につける。				
学習目標 (到達目標)	確認テストに合格する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論ほかレジュメを使用。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	オリエンテーション～授業の目的を知る		レジュメを使用。		
3 4	電話応対を学ぶ		レジュメを使用。		
5 6	遺体の搬送について学ぶ		搬送の実習を行う		
7 8	遺体の安置、夜間の宿直業務を学ぶ		遺体の安置実習を行う		
9 10	葬儀の相談内容を学ぶ		相談内容をテキストなどで知る		
11 12	自宅飾り（祭壇設営、門パイ出し、床の間飾り、神棚封じ）を知る		自宅飾りの道具を画像などで知る		
13 14	自宅迎え（自宅から式場への搬送）を学ぶ		レジュメにて業務のポイントを知る		
15～22	納棺着せ替え実習		納棺時の着せ替えを実習で覚える		
23～30	幕張実習		検定の幕張課題のやり方を覚える		
31～36	葬儀の司会実習		実際の葬儀に使用する台本で司会の話し方を覚える		
37～40	接遇実習		検定の接遇実習のやり方を学ぶ		
41～46	事前相談実習		自分の目標タイムを設定する		
47～50	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
テスト80%、出欠席20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			葬儀の業務を経験することで、受け身の研修ではなく、自ら積極的に関わられるようにする。		
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	手話Ⅰ				
担当教員	NPO法人にいま～る	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔・対面
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	1、手話の基本を学ぶ。 2、思いやりの気持ちを育む				
学習目標 (到達目標)	手話で自己紹介ができるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ゼロから分かる手話入門				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	自己紹介				
3 4	指文字「あ行～な行」		テキストと動画を使用。		
5 6	指文字「は行～和行」		テキストと動画を使用。		
7 8	挨拶の単語を学ぶ		テキストと動画を使用。		
9 10	地名の単語・食べ物単語を学ぶ		テキストと動画を使用。		
11 12	都道府県名、代表的な都市名を学ぶ		テキストと動画を使用。		
13 14	過去と未来の単語、会話を学ぶ		テキストと動画を使用。		
15 16	性格・趣味の単語を学ぶ		テキストと動画を使用。		
17 18	確認テスト		テキストと動画を使用。		
19 20	振り返り		テキストと動画を使用。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度80% 確認テスト20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			授業で学んだことを私生活でも生かせるように、積極的に取り組んでください。		
実務経験教員の経歴		手話教室と聴覚障害者の就労自立支援を10年以上行っている			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬祭フラワーⅠ				
担当教員	坂上久美子	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1、フラワーアレンジメントの基礎知識を学び、墓花や仏花の作成を実践で学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	枕花（フラワーアレンジメント）を作成する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	授業で使用する生花を手配する（予算を決めておく）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	墓花・仏花を作成してみる		実習で学ぶ。		
5～8	遺影写真脇の生花のアレンジを作成してみる		実習で学ぶ。		
9～10	枕花（フラワーアレンジメント）を作成する		実習で学ぶ。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度100％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			生花の扱い方に慣れる。		
			生花店を経営して15年以上携わっている		

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	グリーフサポート				
担当教員	小林伸子	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1、グリーフとはどういうものかを知る 2、死を迎えるまでの本人や家族の心理を知る。				
学習目標 (到達目標)	グリーフに関する知識を身につける				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	レジュメを使用。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	オリエンテーション～「グリーフ」とは何かを学ぶ		レジュメを使用。		
3 4	病院でのエンゼルケア～看取りについて学ぶ		レジュメを使用。		
5 6	グリーフがもたらす身体的な影響について学ぶ		レジュメを使用。		
7 8	グリーフとの具体的な向き合い方について学ぶ		レジュメを使用。		
9 10	最終レポート作成		レジュメを使用。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度50% 最終レポート50% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			授業の目的を理解し、自分だったらと想像しながら取り組んでください。		
実務経験教員の経歴	看護師としてホスピスにて20年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	グリーフワーク				
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1、グリーフを知り、受け入れるためのワークショップを実習で学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	グリーフに関する知識を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメを使用。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	授業の目的、グループワーク①		ワークショップ		
3 4	グループワーク②		ワークショップ		
5 6	グループワーク③		ワークショップ		
7 8	グループワーク④		ワークショップ		
9 10	グループワーク⑤ 授業の振り返りレポート		ワークショップ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度80% 振り返りレポート20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			授業の目的を意識しながら、グループワークを行いましょう。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

科目名	心理学（こころ検定対策）				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	65
授業概要、目的、 授業の進め方	1、心理学の基本的知識を学ぶ。 2、自分の気持ちに向き合う				
学習目標 （到達目標）	こころ検定4級に合格する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	こころ検定4級公式テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション～検定について知る		テキストとパワーポイントを使用。		
2	第1章 学習心理学 「学習」「行動」「反応」とは		テキストとパワーポイントを使用。		
3	第1章 学習心理学 「レスポナドント行動」「オペラント行動」		テキストとパワーポイントを使用。		
4	第1章 学習心理学 「バプロフの犬の実験について」「条件づけ」「消去抵抗」		テキストとパワーポイントを使用。		
5	第1章 学習心理学 「クレスピ効果」「プラトー」「ウォーミングアップ効果」		テキストとパワーポイントを使用。		
6	第1章 学習心理学 「結果の知識」「分散効果」「集中練習」		テキストとパワーポイントを使用。		
7	第1章 学習心理学 「即時確認の原理」「迷信行動」「応用行動分析」		テキストとパワーポイントを使用。		
8	第2章 認知心理学 「人のこころの流れについて」		テキストとパワーポイントを使用。		
9	第2章 認知心理学 「相貌失認」「人の物事の捉え方や考え方の偏り」		テキストとパワーポイントを使用。		
10	第2章 認知心理学 「記憶について」		テキストとパワーポイントを使用。		
11	第2章 認知心理学 「初頭効果」「新近効果」など様々な効果		テキストとパワーポイントを使用。		
12	第2章 認知心理学 「記憶に関する様々な現象について」		テキストとパワーポイントを使用。		
13	第2章 認知心理学 「アルゴリズム」「ヒューリスティックス」「アンカリング」		テキストとパワーポイントを使用。		
14	第2章 認知心理学 「時間」の認識について		テキストとパワーポイントを使用。		
15	第3章 生理心理学 「生理心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
16	第3章 生理心理学 「神経伝達物質」		テキストとパワーポイントを使用。		
17	第3章 生理心理学 「脳波の種類」		テキストとパワーポイントを使用。		
18	第3章 生理心理学 「ポリグラフ検査」		テキストとパワーポイントを使用。		
19	第3章 生理心理学 「ストレス」		テキストとパワーポイントを使用。		
20	第4章 知覚心理学 「知覚心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
21	第4章 知覚心理学 「両眼手がかり」「単眼手がかり」		テキストとパワーポイントを使用。		
22	第4章 知覚心理学 「錯視」		テキストとパワーポイントを使用。		
23	第4章 知覚心理学 「錯聴」		テキストとパワーポイントを使用。		
24	第4章 知覚心理学 「視聴覚統合」		テキストとパワーポイントを使用。		
25	第5章 社会心理学 「社会心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
26	第5章 社会心理学 「どうして他者が気になるのか？」		テキストとパワーポイントを使用。		
27	第5章 社会心理学 「対人魅力」		テキストとパワーポイントを使用。		
28	第5章 社会心理学 「コミュニケーションと効果」		テキストとパワーポイントを使用。		
29	第5章 社会心理学 「個人と集団の心理の違い」		テキストとパワーポイントを使用。		
30	第6章 感情心理学 「感情心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
31	第6章 感情心理学 「ネガティブな感情」「ポジティブな感情」		テキストとパワーポイントを使用。		
32	第6章 感情心理学 「感情理論」		テキストとパワーポイントを使用。		
33	第6章 感情心理学 「感情と行動について」		テキストとパワーポイントを使用。		
34	第6章 感情心理学 「気持ちを測定する」		テキストとパワーポイントを使用。		
35	第6章 感情心理学 「内発的動機づけ」「外発的動機づけ」		テキストとパワーポイントを使用。		
36	第7章 知能 「知能とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
37	第7章 知能 「知能の構造」		テキストとパワーポイントを使用。		
38	第7章 知能 「社会的知能」「知性」		テキストとパワーポイントを使用。		
39	第7章 知能 「人間と動物の知能」		テキストとパワーポイントを使用。		
40	第7章 知能 「知能の測定」		テキストとパワーポイントを使用。		
41～65	検定対策 問題の取り組み		過去問題・オリジナル問題を使用。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度20%、確認テスト80%			試験範囲が広いので、自分で復習・予習しながら取り組むこと。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で8年以上携わっている				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースⅠ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	80
授業概要、目的、 授業の進め方	1、お別れ会プラン企画発表会を通じて、自分たちが学んだことを形にして他者から評価を受ける。 2、模擬葬儀イベントを通じてチームワークを身につける。 3、企業連携により、社会に関わる意識を育てる。 4、成長した姿を保護者に見てもらい、就職活動を応援してもらう。				
学習目標 (到達目標)	1、在校生や保護者に向けて、学んだことを披露する 2、企業・業界に向けて自分たちの考えを表現し、業界に関わる意識を育てる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～2	オリエンテーション～イベント内容を知る		時間割や年間スケジュールを使用。		
3～6	お別れ会プランの企画を考える		パソコンで調べ学習。		
7～12	発表台本・PP作成		パソコンで作成。		
13～15	お別れ会プラン企画発表会		本番を想定して、身だしなみを整える。		
16～17	イベント振り返り		レポート提出。		
18～21	「お寺でゴーン」準備		選抜メンバーだけでなく全員で協力する。		
22～26	「お寺でゴーン」リハーサル		本番を想定してリハーサル		
27～30	「お寺でゴーン」本番		本番を想定して、身だしなみを整える。		
31～32	「お寺でゴーン」振り返り		レポート提出。		
33～36	模擬葬儀準備（個人設定、役割決め）		チームで1つの葬儀をつくる。		
37～44	模擬葬儀リハーサル		企業に見てもらうため、身だしなみや話し方にも気を配る。		
45～48	模擬葬儀本番		企業で実施予定。		
49～50	イベント振り返り		レポート提出。		
51～55	NSG大学園祭準備		2年生と協力して、内容決める。		
56～61	NSG大学園祭本番		不測の事態を予想しながら取り組む。		
62～63	イベント振り返り		レポート提出。		
64～67	進級制作発表会の目的・テーマ決め		進級制作テーマを決める。		
68～72	台本・PP作成		業界専門用語を分かりやすい表現にする。		
73～76	進級制作発表会リハーサル		本番を想定してリハーサルを行う。		
77～78	進級制作発表会本番		保護者向け発表会。		
79～80	振り返り		レポート提出。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			自分自身の成長やスキルアップにつなげるために、いろんな役割にチャレンジしてください。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	業界研究				
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭セレモニー科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	1、いろいろな葬儀社を調査し、企業理念やvisionなど比較し自分の価値観と重ねる 2、葬祭業界の職種や働き方を調査し、自分が目指す姿を明確にする				
学習目標 (到達目標)	葬祭業界の企業や職種について知識を習得し、就職活動につなげる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	レジュメを使用。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	授業の目的を知る				
3・4	与えられたテーマに合いそうな企業を調査し、レポート作成		ワークシートを参照		
5・6	与えられたテーマに合いそうな企業を調査し、レポート作成		ワークシートを参照		
7・8	与えられたテーマに合いそうな企業を調査し、レポート作成		ワークシートを参照		
9・10	企業説明会に参加する（オンライン、対面）①		ワークシートを参照		
11・12	与えられたテーマに合いそうな企業を調査し、レポート作成		ワークシートを参照		
13・14	与えられたテーマに合いそうな企業を調査し、レポート作成		ワークシートを参照		
15・16	企業説明会に参加する（オンライン、対面）②		ワークシートを参照		
17・18	与えられたテーマに合いそうな企業を調査し、レポート作成		ワークシートを参照		
19・20	与えられたテーマに合いそうな企業を調査し、レポート作成		ワークシートを参照		
21・22	企業説明会に参加する（オンライン、対面）③		ワークシートを参照		
23・24	振り返りレポート作成		ワークシートを参照		
25	発表				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度80% 振り返りレポート20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			授業の目的を意識しながら、グループワークを行いましょう。		
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	料飲サービス				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	①サービススタッフに求められる振る舞いや身だしなみ、マナーを身につける。 ②通夜振る舞いや精進落としてのサービスに活かす				
学習目標 (到達目標)	一連のサービスができるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	レジュメ作成				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～2	授業の目的・挨拶練習・テーブルクロス・ナフキン扱い方				
3～4	テーブルセッティング、ウォーターサービス				
5～6	トレイサービス、プレートサービス				
7～8	コーヒーサービス、ワインサービス				
9～13	一連の流れ 練習				
14～15	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト50％、出席率30％、学習意欲（授業態度）20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			レストランサービスをベースに丁寧、迅速な振る舞いを身につけ、お客様から見て落ち着きや安心感を与えられるスタッフを目指しましょう。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホテル概論Ⅰ（初級編）				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	ホテルや宿泊産業の概要、観光産業の中の位置付けを理解する。ホテルの種類や形態、その組織及び代表的な職種とその業務内容を体系的に学び、業務の基礎知識も身につけて行く。そして、ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、この後に続く就職活動・進路選択に役立てて行く。				
学習目標 （到達目標）	1.ホテル業界の概要、ホテルの種類、及び各部門の代表的な職種・業務内容の把握と基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材（適宜、レジュメ資料を配布）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ホテル業界を取り巻く環境・現況		レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
2	ホテルの種類・形態		↓		
3	ホテルの職種・職務内容				
4	ホテルの形態 / ホテルの種類・組織・職種				
5	代表的なホテル 事例紹介				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席(ミニ課題含む) 40点 授業態度 10点 中間試験 20点, 期末試験 30点 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後に続くインターンや就職活動・進路選択に役立てていく。		
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダルスタンダード				
担当教員	伊波華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、 授業の進め方	1、ブライダルの由来について理解する 2、ディスカッションにて意見を出し合う				
学習目標 (到達目標)	一般教養として結婚式・披露宴を学ぶ（結婚式に招待されたときなど）				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ノートのみ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	結婚式にまつわる意味や由来について		パワポで説明。ディスカッション。		
2	披露宴の演出について		パワポで説明。ディスカッション。		
3	披露宴の演出について		パワポで説明。ディスカッション。		
4	披露宴の演出について		パワポで説明。ディスカッション。		
5	結婚式に招待された場合のポイント説明		パワポで説明。ディスカッション。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出欠席100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			グループディスカッションを通して、自分の考えを持ち人に述べる力を育てる。ブライダルにおいての一般常識を学ぶ		
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナー、アテンダー、衣裳コーディネーターとして現場に約12年携わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	センスアップセミナー				
担当教員	伊波 華奈子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	業界に必要なセンスアップを実習をとおして習得する				
学習目標 (到達目標)	印象の良いヘアメイクを15分以内に出来るようになる。正しい姿勢で「歩く 立つ 座る」ができる。正しい発声・発音が出来る。話し方ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット コミュニケーション技法 プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	ヘアメイク:おしゃれと身だしなみの違い ヘアスタイル		ヘアメイク実習		
3 4	ヘア仕上がりチェック フルデモンストレーション 眉のみ練習		ヘアメイク実習		
5～8	メイク練習		ヘアメイク実習		
9～12	ヘアメイクを完璧に仕上げる		ヘアメイク実習		
13・14	歩き方:基本姿勢 表情 お辞儀の仕方		テキスト28・29Pを参考にしながら		
15・16	話し方:発声・活舌トレーニング		テキスト38～42p 50～52p		
17・18	発声・活舌トレーニング 敬語プリント		テキスト53～66p		
19・20	ビジネス会話 美しい日本語のフレーズ		テキスト67～68p		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			お客様に見られていることを常に意識できるように学習を重ねること。		
実務経験教員の経歴		ウエディングプランナー、アテンダー、衣裳コーディネーターとして現場に約12年携わる			